

1. 科目名 (単位数)	障害児保育特論 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP5331
2. 授業担当教員	戸次 佳子		
4. 授業形態	講義及び演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	R
7. 講義概要	インクルージョン保育とは、人間の多様性を尊重し、障害の有る無しに関わらず、共に協力し合って生きていくことを前提とした保育である。本講義では、知的障害、発達障害、身体障害に対して、その障害を個人の特性として捉え、適切な配慮ができるよう理解を深めていく。また、障害児及び障害児をめぐる法や制度の歴史的背景を理解し、統合保育およびインクルーシブ保育の実践事例を通して、障害児保育の本質について考えていく。		
8. 学習目標	1) 乳幼児期の障害についての知識をもつことができる。 2) 障害の知識をもとに個に応じた支援を考えることができる。 3) 保育の場において、障害児を含めた集団への共に育つための保育の方法について理解し、考えていくことができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	毎回課題を与える		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房・2018 【参考書】 滝川一廣『子どものための精神医学』医学書院・2017 高橋三郎・大野裕他『DSM-5 による精神疾患の分類と診断の手引き』 その他、授業ごとに資料を配布する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 子どもの障害およびインクルーシブ保育について理解すること、全ての子どもの健やかな育ちのための保護者支援および保育士などの専門職に求められる知識・実践スキルについて理解することを評価の基準とする。 ○評定の方法 レポート課題 80% 受講態度 20%		
12. 受講生へのメッセージ	大学院は、学術の理論及び応用について研究し、その深奥を極めて、文化の進展に寄与することを目的とするものである。そのために、積極的、意欲的に授業へ参加し、課題に対して思考し、判断し、解決のできる能力を高めてもらいたい。本講義では、インクルーシブ保育の重要性について理解し、障害児保育のあり方について考えて欲しい。		
13. オフィスアワー	別途連絡する		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	障害とは何か		
	【学習の目標】 「障害」のさまざまな定義について理解する。そして障害とは何かを考えることができる。 【学習の内容】 障害者の処遇の歴史について理解することを通して、これまでの社会が障害に向けてきたまなざしについて理解する。そして、現在の障害の定義 (ICF) について学習する。また、近年のキーワードについて学習する。 【キーワード】 ICF、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、障害者への処遇、社会のまなざし、障害者権利条約、合理的配慮 【学習の課題】 「障害」とは何かについて考える。 【参考文献】 滝川一廣『子どものための精神医学』医学書院・2017 掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房 【学習する上での留意点】 障害とは何かについて考える。		
2. テーマ	インクルーシブ保育とは		
	【学習の目標】 インクルーシブ保育の理念について理解する。 【学習の内容】 インクルージョンとは何かを理解し、インクルーシブ教育の動向について学ぶ。 【キーワード】 特別支援教育、統合保育、インクルージョン、共生社会 【学習の課題】 インクルーシブ教育に関する論文または資料を読む。 【参考文献】 掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房 【学習する上での留意点】 インクルーシブ保育から日々の保育実践を見直す。		
3. テーマ	障害の理解と配慮 1 (知的障害)		
	【学習の目標】 知的障害と個に応じた支援、配慮について理解する。 【内容】 知的障害について、定義とその分類について学び、日常の配慮を学ぶ。 【キーワード】 知的障害、知能、発達、ダウン症 【学習の課題】 知的障害の診断に関して 【参考文献】 掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房 高橋三郎・大野裕他『DSM-5 による精神疾患の分類と診断の手引き』 融道夫・小見山実他『ICD-10 精神および行動の障害—臨床記述と診断ガイドライン』 【学習する上での留意点】 染色体異常症についても理解する。		

4 . テ ー マ	障害の理解と配慮2（発達障害）
【学習の目標】	発達障害とその支援、配慮について理解する。
【学習の内容】	発達障害とその診断とその障害の特徴について学ぶ。
【キーワード】	自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠如・多動症（AD/HD）、学習障害（LD）
【学習の課題】	発達障害の定義について
【参考文献】	掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房 滝川一廣『子どものための精神医学』医学書院 榎原洋一『子どもの発達障害 誤診の危機』ポプラ新書
【学習する上での留意点】	障害とは何かについて考える。
5 . テ ー マ	障害の理解と配慮3（身体障害）
【学習の目標】	身体障害とその支援、配慮について理解する。
【学習の内容】	身体障害の種類とその配慮について学ぶ。
【キーワード】	肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、話し言葉の障害
【学習の課題】	それぞれの障害の特性と配慮について
【参考文献】	掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房
【学習する上での留意点】	障害とはどういうことかについて考える。
6 . テ ー マ	子育てをめぐる問題
【学習の目標】	子育ての歴史を振り返りながら、子育ての難しさについて理解する。
【学習の内容】	困難を有する子育ての具体例から、保護者支援の方法を考える。
【キーワード】	共同社会、学校社会、社会化、個人化
【学習の課題】	子育てをめぐる問題の対処と支援の仕方について
【参考文献】	滝川一廣『子どものための精神医学』医学書院
【学習する上での留意点】	現代日本の子育ての課題に気づく。
7 . テ ー マ	障害児の生活の理解と支援
【学習の目標】	障害児保育の歴史を振り返りながら、インクルージョンについて理解する。
【学習の内容】	障害児保育の現場と今後の課題について考える。
【キーワード】	QOL（生活の質）、ライフステージと発達課題、自己肯定感、ペアレントトレーニング
【学習の課題】	参考図書を読み、障害児を持つ親について考える。
【参考文献】	掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房 野辺明子・加部一彦・横尾京子編『障害を持つ子を産むということー19人の体験』中央法規出版
【学習する上での留意点】	親の障害児受容についても考える。
8 . テ ー マ	障害児保育に関する理念と動向
【学習の目標】	障害児保育に関する理念の変化と今後の課題について理解する。
【学習の内容】	障害児保育に関する理念を世界的な流れから学ぶとともに、現在の日本の状況について考える。
【キーワード】	ノーマライゼーション、インテグレーション、インクルージョン、子どもの権利条約、特別支援教育
【学習の課題】	子どもの権利条約について
【参考文献】	掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房
【学習する上での留意点】	これからの我が国の障害児保育について考える。
9 . テ ー マ	障害児保育に関する法・制度
【学習の目標】	障害児保育を支える法や制度について理解する。
【学習の内容】	我が国の障害児保育の歴史と障害児の施設や事業について学ぶ。
【キーワード】	障害児保育、早期療養、特別児童扶養手当、母子保健法、児童福祉法
【学習の課題】	障害児施設・事業の一元化について
【参考文献】	掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房 保育所保育指針（厚生労働省）、幼稚園教育要領（文部科学省）、幼保連携型こども園教育・保育要領（内閣府）
【学習する上での留意点】	現行の法や制度を実際の保育現場でどのように活用できるのかを考える。
10 . テ ー マ	障害児保育の実際1
【学習の目標】	障害の遊びを育てる、子どもの遊びを育てる方法について討論を通して理解する。
【学習の内容】	障害児保育施設の見学を通して、障害児を保育することの意味を考える。
【キーワード】	遊びの発達、遊びを育てる
【学習の課題】	見学内容をまとめて、考察する
【参考文献】	汐見稔幸・佐藤学他『発達160』ミネルヴァ書房
【学習する上での留意点】	障害児保育と定型発達の子どもの保育との共通点は何かを考える。
11 . テ ー マ	障害児保育の実際2
【学習の目標】	障害児を含む集団をどのように保育していったらよいか事例をもとに討論し、理解する。
【学習の内容】	多様な発達段階や特性を持つ子どものクラスをどのように運営したら良いか、またひとりひとりを育てることが出来る保育とは、また子ども同士の関係をどう捉えたら良いか、事例の討論を通して考えていく。
【キーワード】	学級経営、仲間関係
【学習の課題】	事例討論を通して考えたこと
【参考文献】	佐伯胖「共感ー育ち会う保育の中で」ミネルヴァ書房 佐伯胖「幼児教育へのいざない」東京大学出版会

【学習する上での留意点】 障害児保育と定型発達の子どもの保育との相違点は何かを考える。	
12. テーマ	保育所における保護者との連携
【学習の目標】	保育者と保護者がどう関係性をつくるか、討論し理解する。
【学習の内容】	関係が作りにくい障害児とどう関係をつくっていくか、具体的な方法について学ぶ。また、保育者のまなざしなど、関係をつくることとその意味について、事例の討論を通して考えていく。
【キーワード】	保護者理解、障害受容、信頼関係、解決志向アプローチ
【学習の課題】	解決志向アプローチについて
【参考文献】	掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房
【学習する上での留意点】	子どもの最善の利益を考える。
13. テーマ	障害児保育実践における関係機関との連携
【学習の目標】	共生社会のネットワークの重要性について理解する。
【学習の内容】	障害児保育における各関係機関との連携について学ぶ。
【キーワード】	障害児通所支援、保険医療機関、小学校
【学習の課題】	子どもにとってのネットワークの意義や必要性について
【参考文献】	掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房
【学習する上での留意点】	個々の特別なニーズに対する実際の支援について考える。
14. テーマ	障害児とその保護者への支援機関
【学習の目標】	保護者の障害児を育てることを支援する方法について理解する。
【学習の内容】	障害児が入所、または通所する施設と主に保護者を対象とした相談支援活動を行う機関について学ぶ。
【キーワード】	障害児入所施設、児童発達支援センター、児童相談所
【学習の課題】	障害児の保護者支援について
【参考文献】	掘智晴・橋下好市・直島正樹『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』ミネルヴァ書房
【学習する上での留意点】	本人支援と保護者支援の双方から考える。
15. テーマ	まとめ-障害児保育の今日的課題
【学習の目標】	障害児保育の課題について、これまでの学びを元によりよい保育について考える。
【学習の内容】	障害児保育を取り巻く今日的な課題について討論する。
【キーワード】	障害児保育のあり方について
【学習の課題】	授業中に指示する
【参考文献】	特になし
【学習する上での留意点】	これまでの課題と学習を振り返る。